

NEWS RELEASE

デジタルガレージ、B2B 決済サービス「DGFT 請求書カード払い」の インボイス制度へ対応と、ユーザの利便性向上を 目的に複数の機能をアップデート

～即時利用開始、最短 5 分で支払申請が完了。資金繰りを改善したい中小事業者の DX 化を促進～

株式会社デジタルガレージ（東証プライム 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁、以下：DG）は、バックオフィスが抱える業務の生産性を向上させ、実質的な支払い期日を繰延する B2B 決済サービス「DGFT 請求書カード払い*1」が、2023 年 10 月 1 日施行の「インボイス制度」への対応と、「審査自動化機能」をはじめとする複数機能のアップデートを行ったことをお知らせします。さらなるユーザビリティの向上を通じて、中小事業者のバックオフィス業務の DX 化の促進と資金繰りを支援してまいります。

インボイス制度に対応 DGFT 請求書カード払い

国内市場ではキャッシュレス決済の普及が進んでおり、利用が増加している一方、クレジットカード情報の不正利用被害が増加し、2022 年には過去最高額の 430 億円*2 に達しております。国際的には金融犯罪対策が重要視され、各国が連携して取り組んでおり、日本も金融犯罪に対する法令やガイドラインを整備し、対策を強化しています。B2B 決済領域においても、金融犯罪対策として、申し込み時の審査や不正検知による顧客管理が重要です。しかしながら、コンプライアンスチェックにおいては、スピード、精度、コストの面で改善の余地が大きい課題があります。

今回、これらの課題を解決するため、高い品質の審査基準を担保しながらスピード感ある提供を実現できるよう「DGFT 請求書カード払い」の申し込み審査業務を自動化しました。結果、ユーザ登録後の即時利用開始、最短 5 分での支払申請完了を実現しました。さらに、今回の対応により、インボイス制度（適格請求書等保存方式）に対応した領収書、明細書の出力が可能となります。

今後も DG は、迅速かつ高い水準の対応が求められる企業向けに、高品質な審査基準を担保した、B2B 領域のフィンテックソリューションを提供し、次世代 Fintech 事業の推進と便利で安全・安心なキャッシュレス社会の実現に貢献してまいります。

■ DGFT 請求書カード払いの概要 <https://lp.dginvoice.jp/>

- ・銀行振込の請求書をカードでの支払いに切り替えることで、支払い期日を繰延できる B2B 向け決済サービスです。取引先（請求書の発行元）がカード決済に対応していない場合でも利用できます。
- ・クレジットカードを利用した場合、支払い期日を約 60 日程度繰延することが可能です（月末支払い期限の請求書の場合）。季節要因による定期的な資金不足や突発的な資金調達など、法人・個人を問わず中小事業者の資金繰りをサポートします。
- ・利用申請（取引先/請求書の登録など）は、「お客様専用ページ」上から行うことが可能です。また、申請後の進捗状況、過去の利用状況、振込状況なども一覧で確認できます。

NEWS RELEASE

【デジタルガレージについて】 <https://www.garage.co.jp/ja/>

デジタルガレージは、「持続可能な社会に向けた“新しいコンテキスト”をデザインし、テクノロジーで社会実装する」をパーパスに、社会インフラを担う国内最大級の決済代行事業者として、多様な総合決済プラットフォームを提供する決済事業、デジタル・リアル領域においてワンストップでソリューションを提供するマーケティング事業、国内外の有望なスタートアップやテクノロジーヘリテージするスタートアップ投資・育成事業などを展開しています。

*1: 参照リリース「[デジタルガレージ、JCBとB2B向け決済サービスを開始～「DGFT請求書カード払い」で、中小事業者の資金繰りと業務効率化を支援～](#)」（2022年11月10日）

*2: 参照 日本クレジット協会「[日本のクレジット統計 2022年版](#)」